

令和3年度事業報告概要

1. コロナ感染による影響

多くの事業所において多大な影響を被ったところであります。

特に、生活介護事業所フォレスターナ若林においては、令和4年2月から3月にかけて、事業所の閉館に追い込まれる期間がありました。

他の事業所においても多かれ少なかれ影響があり、支援スタッフの確保に各施設長は大変苦慮しておりました。

就労系の事業所においても、1日あたりの利用率が70%を切る月もあり、収益にもおっつき影響しておりましたが、経費の削減等に取り組んだ結果、利用率に比して大きく損失を計上することはありませんでした。

次に、グループホームについてであります。GHやまてまち、第IIやまてまちにおいても、PCR検査対象の利用者さんがおりましたが、大事には至りませんでした。

令和4年4月1日開設を目指し、群馬県吾妻郡長野原町に7名定員+ショートステイ1名の日中サービス支援型のグループホームを長野原町の協力を頂きながら、大規模改修工事に取り組みました。

2. 職員の人事評価について

令和3年当初から検討してまいりました人事評価ですが、令和4年4月1日からの施行にこぎつけることができました。

具体的には、これまでの等級号俸から、G0、G1、G2、G3、G4、G5の6段階に分け、それぞれのGがクリアできれば次のGに昇格するといった方式に改めました。

この間評価をする側の幹部書金に対する研修はもちろんのこと、評価される側の職員に対しても、役員が自ら個別説明を実施し、理解を深めてまいった結果、この度の実施となったものです。今後も、評価する側の職員に対する研修を重ねてまいります。

3. その他

令和4年度がスタートして、早2か月が過ぎようとしています。この間の当法人を取り巻く出来事を何件か報告させていただきます。

- ① 白石理事長が、宮城県知的障害者福祉協会の会長に就任しました。
- ② 群馬県長野原町に開設した「グループホームながのはら」ですが、6名の方と入居契約が完了し、5月連休明けから入居がスタートしております。ただ、スタート直後ということもあり、フル稼働までには時間がかかるものと想定しています。
- ③ 手代木武伯理事ですが、栗田常務理事に代わって、NPO法人財産管理サポートセンターの理事に就任予定です。

令和3年度 収支決算報告書概要

法人全体としての収入については次の通りです。

障害福祉サービス等事業収入は、当初予算対比で49,500,000円ほどの増となっています。

就労支援事業収入は、当初予算対比で1,130,000円ほどの増となっています。

支出についてですが、

人件費が8,230,000円ほどの増、事業費支出が2,860,000円ほどの増、事務費支出が3,930,000円ほどの増、就労支援事業支出が1,500,000円ほどのそれぞれ増となっています。

施設整備等による収支についてですが、群馬県長野原町に設置しましたグループホームながのはらに要した費用が25,600,000円ほどを計上しております。

次に各拠点の事業活動資金収支差額についてであります。

法人本部	46,000,000円ほどの△
すていじ仙台	16,500,000円ほどの+
グループホームやまいえまち	1,960,000円ほどの+
フォレスターナ仙台	19,000,000円ほどの+
ポーノポーノ大崎東	9,800,000円ほどの+
マリアージュ仙台	380,000円ほどの△
フォレスターナ若林	11,000,000円ほどの+
マリアージュ若林	2,800,000円ほどの△
ふれあい福祉作業所	11,100,000円ほどの+
やまどり	7,100,000円ほどの+
グループホームぼーのぼーの	4,400,000円ほどの+
マリアージュ長野原	3,500,000円ほどの+
地域活動支援センターすきっぷ	3,100,000円ほどの△
グループホームながのはら	1,800,000円ほどの△
施設整備費等による支出	22,500,000円ほど発生しております。

詳細につきましては、別添決算資料に記載させていただきました。

令和3年度（就労継続B型事業所）すていじ仙台 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市泉区高森七丁目1-4
利用定員	40名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドラifu

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

就労支援活動(販売・配達、レストランでの接客、施設外就労等)を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

約束事である「あいうえおルール」を朝の会、帰りの会に各班ごと唱和し、「社会人」として必要な基本マナーの習得に努めた。

(3) 生産活動支援

- ・レストランの運営とお弁当やスイーツの販売を行った。また季節商品を考案しチラシを作る等して販売促進に努めた。
- ・コロナ渦でレストランの来客、お弁当の注文が減った為チラシを作成しポスティングを行いテイクアウト、デリバリーを始め、収入につなげた。
- ・施設外就労を継続し収入につなげた。
- ・しそ巻き作業、カーテンテープ作業、プロテイン充填作業、匠ソリューションズの商品封入、リサイクル売却を新たに始め収入につなげた。
- ・規程に基づき月々の工賃と3回にわたる賞与の支給を行った。

(4) 地域交流支援

コロナウィルス感染防止の観点から地域の市民センター・児童館、高森東夏まつり等イベントがすべて中止となり地域住民との交流を図ることが出来なかった。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	主な活動内容（発表・披露・参加）
合唱	第2・4木曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
すずめ踊り	第2・4月曜日	コロナウィルス感染防止の為中止(12/6,1/17のみ)
ストライキング エクササイズ	第3木曜日	コロナウィルス感染防止の為中止(12/24のみ)
利用者自治会	第4金曜日	クリスマス 班ごとにケーキ（保護者会から）を食べたのみ
仙団協・諸団体の余暇活動参加		コロナウィルス感染防止の為中止

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年4月1日現在）

(1) 登録者数 35名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
2名	0名	3名	16名	8名	6名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	37	37	37	37	37	37	37	36	36	36	36	35	36.5
開所日数(日)	24	23	25	24	23	23	25	23	24	23	21	25	283
延通所者数(人)	719	704	741	709	692	704	740	672	705	654	592	685	8317
1日平均利用者人数(人)	29.9	30.6	29.6	29.5	30.0	30.6	29.6	29.2	29.3	28.4	28.1	27.4	29.3
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	80.8	82.7	80.0	79.7	81.0	82.7	80.0	81.1	81.3	78.8	78.0	78.2	80.2

5、主な行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容および参加者数
1	対面式(施設主催)	4/1	入所式(新卒入所1名)
2	新年・成人を祝う会	1/7	利用者 保護者会役員

※コロナウィルス感染防止の為、対面式、新年・成人を祝う会以外の行事を中止した。

※ 新年・成人を祝う会は、午後3時より、利用者、家族会役員、職員にて実施。

6、事業担当職員（職員構成：令和4年3月31日現在）

施設長	常勤	1名
サービス管理責任者	常勤	1名
生活支援員	常勤	4名
	非常勤	2名
目標工賃達成指導員	常勤	1名
医師	非常勤嘱託	1名
看護職員	常勤	0名
	非常勤	1名
栄養士	非常勤	1名
調理員	常勤	2名(兼務2名)
調理補助員	非常勤	1名

7、緊急時の対応

防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 年2回）を実施し、非常時に備えた。

令和3年度（生活介護事業所）すていじ仙台 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市泉区高森七丁目1-4
利用定員	10名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 日常活動への支援

- ・個々人の能力及び、特性に応じた作業内容を取り入れ、工賃または本人支給金を還元した。
- ・利用者の活動意欲と潜在能力の喚起を目指す活動を取り入れ支援した。

(2) 日常生活上の援助

個々の状況に応じ、食事、排泄、身体介護、健康管理等の日常生活に関する援助に努めた。
個々の状況に応じた創作活動や、身体機能、生活能力の向上に関する援助に努めた。

(3) 生産活動支援

受託作業であるヨシケイ宮城のシート拭き取り・水野産業のスプーン封入作業・(株) スプレッツのチラシ封入作業、匠ソリューションズの商品封入、リサイクル売却や銅線の皮むき・飲料水の販売を主な作業・活動とし、収入につなげた。

(4) 地域交流支援

コロナウイルス感染防止の観点から地域の市民センター・児童館、高森東夏まつり等イベントがすべて中止となり地域住民との交流を図ることが出来なかった。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	主な活動内容（発表・披露・参加）
合唱	第2・4金曜日	コロナウイルス感染防止の為中止
すずめ踊り	第2・4月曜日	コロナウイルス感染防止の為中止(12/6,1/17のみ)
ストライキング エクササイズ	第3水曜日	コロナウイルス感染防止の為中止(12/24のみ)
利用者自治会	第4木曜日	クリスマス 班ごとにケーキ（保護者会から）を食べたのみ
仙団連・諸団体の余暇活動参加		コロナウイルス感染防止の為中止

4、主たる利用者と利用者の状況（令和3年3月31日現在）

(1) 登録者数 10名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	0名	3名	4名	4名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
開所日数(日)	24	23	25	24	23	23	25	23	24	23	21	25	283
延通所者数(人)	209	199	221	218	202	204	213	202	220	187	174	223	2472
1日平均利用者人数(人)	8.7	8.6	8.8	9.0	8.7	8.8	8.5	8.7	9.1	8.1	8.2	8.9	8.7
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	79.0	78.1	80.0	81.8	79.0	80.0	77.2	79.0	82.7	73.6	74.5	80.9	79.0

5、年間行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容および参加者数
1	対面式(施設主催)	4/1	入所式(新卒入所1名) B型利用者
2	新年・成人を祝う会	1/7	利用者 保護者会役員

※コロナウィルス感染防止の為、対面式、新年・成人を祝う会以外の行事を中止した。

※ 新年・成人を祝う会は、午後3時より、利用者、家族会役員、職員にて実施。

6、事業担当職員（職員構成：令和3年3月31日現在）

施設長	常勤	1名		
サービス管理責任者	常勤	1名		
生活支援員	常勤	3名		
医師	非常勤嘱託	1名		
看護職員	常勤	0名	非常勤	1名
栄養士	非常勤	1名		
調理員	常勤	2名(兼務2名)		
調理員補助	非常勤	1名		

7、緊急時の対応

防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練6月・11月）を実施し、非常時に備えた。

令和3年度 グループホームやまてまち（共同生活援助）事業報告

1、施設概要

2、事業所名 グループホームやまてまち

所在地	やまてまち…青葉区山手町 28-32（定員 12 名） きくたまち…青葉区菊田町 10-28（定員 6 名） かみやがり…泉区上谷刈字治郎兵衛下 48-16（定員 10 名） やまてまちⅡ…青葉区山手町 17-8（定員 7 名） さくらがおか…青葉区桜ヶ丘 3-22-18（定員 7 名） かわだいら…青葉区川平 4-30-30（定員 5 名） サテライトやまてまち…青葉区山手町 1-8（定員 1 名）
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

「すべての人が役割を持ち、認め合える社会へ」の法人理念の実現のため、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人が意思決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において輝いて生活することができるよう、利用者ひとり一人の個性に合わせ支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供した。

(2) 日常生活支援

- ・障害特性や状況に応じて、洗髪、軟膏塗布、通院等の身体介護を含む支援や、服薬管理等日常生活に必要な支援や、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めた。
- ・健康状態を日々確認するとともに、バランスの取れた献立作成及び食事提供を行った。
- ・コロナ禍において、利用者、職員ともに手洗いうがい、消毒、検温の徹底、不要不急の外出の自粛、感染予防に努めた。

(3) 関係機関、職場との連携

- ・ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先、就労先、訪問看護事業所、財産管理等の関係機関等との連絡調整を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・生活、就労、余暇、財産管理、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援及び関係機関の紹介を行った。

(5) 余暇関連

余暇活動	実施日	内容
レクリエーション	月 1 回	焼肉等の調理体験等（かみやがり）
クリスマス会他	適宜	季節行事を楽しむ（やまてまち、きくたまち、かみやがり）
誕生会	適宜	利用者誕生月にケーキでお祝い（かみやがりを除く 5 ホーム）
他各種お祝い会	適宜	勤続 30 周年お祝い会、就職お祝い会、一般就労勤続 1 年お祝い会

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 登録者数 45名(定員48名)

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	18名	14名	8名	5名	0名

(3) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員(人)	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	...
利用契約者数(人)	45	45	46	46	46	45	45	45	45	45	45	45	...
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数(人)	1272	1287	1296	1336	1307	1287	1340	1300	1316	1288	1189	1334	15,552
1日平均利用者人数(人)	42	42	43	43	42	43	43	43	42	42	42	43	43
利用率(%)	88%	86%	90%	90%	88%	89%	90%	90%	88%	87%	88%	90%	89%

5、事業担当職員（職員構成：令和4年3月31日現在）

管理者	常勤 1名（兼務）
サービス管理責任者	常勤 2名（専従1名、兼務1名）
生活支援員	常勤 4名（兼務）、非常勤1名（兼務）
宿直	非常勤 1名
世話人	常勤 9名（専従4名、兼務5名） 非常勤 10名

6、緊急時の対応

- ①防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- ②非常災害時(震度5強以上の地震等)、全ホームを巡回し安否確認を行った。
- ③コロナ陽性者判明時は、事前に想定していたゾーニングを実施し、感染拡大に努めた。

令和3年度（生活介護事業所）フォレスターナ仙台 事業報告

1 施設概要

所在地	仙台市泉区高森7丁目1-2
利用定員	31名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2 本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すこととともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3 事業内容

(1) 個別支援

- ① 個人の障害特性や能力に応じた創作・軽作業活動を取り入れ、利用者に適した支援を図ることに努めた。
- ② 利用者の活動意欲と潜在能力が喚起できる作業及び訓練内容と支援体制の整備を図ることに努めた。

(2) 日常生活支援

- ① 個人の状況に応じ、食事、排泄、身体介護、健康管理等の日常生活に必要な援助に努めた。
- ② 個人の状況に応じた創作活動や身体機能または、生活能力の向上に必要な援助に努めた。

(3) 生産活動支援

- ① 個人の障害特性や能力に応じた活動メニューを取り入れた支援を行った。
- ② 個人の活動意欲と潜在能力が喚起できる訓練に努めた。

(4) 地域交流支援

- ① 地域の住民、ゲートボール場利用者に対して、休憩スペース（地域交流室）の貸し出しを行った。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ① 利用者の家族が抱える不安や悩み等に対し、相談・助言、情報提供等の支援に努めた。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	目的
パーカッション	隔週 月曜日	様々な楽器に触れ、音楽を楽しみ、リズム感を養った
ストライキング エクササイズ	毎週 水曜日	運動等による機能の維持と体力増強に努めた
ボイストレーニング	毎週 火曜日	発声トレーニングにより、発語・滑舌の訓練に努めた
音楽ワークショップ	隔週 火曜日	音楽に合わせて体を動かし、表現する力を培った。
他機関企画の行事等	随時	スポーツ大会・サークル活動等への参加は見合わせた。

4 主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 登録者数 31名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0名	0名	0名	2名	2名	13名	14名	31名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31.0
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	23	263
延通所者数(人)	555	552	573	561	560	559	572	557	564	558	489	586	6,686
1日平均利用者人数(人)	25.2	25.1	26.0	25.5	25.5	25.4	26.0	25.3	25.6	25.0	24.0	25.0	25.3
利用率(%) (1日平均利用者/定員)	81.4	80.9	84.0	82.3	82.1	82.0	83.9	81.7	82.7	81.8	78.9	82.2	82.0

5 年間行事

No.	開催・参加・行事	開催日時	参加対象	主な内容
1	花見	各部屋ごと	利用者31名	季節行事 (桂島緑地、南川ダム等)
2	施設見学	コロナ感染症流行のため中止		
3	七夕会	令和3年 8月5日(木)	利用者27名	季節行事 (ゲーム大会)
4	芋煮会	令和3年10月20日(水) 10月22日(金)	利用者13名 利用者17名	季節行事 (ゲートボール場にて開催)
5	ピュア・ハーツ	コロナ感染症流行のため中止		
6	クリスマス会	令和3年12月23日(木)	利用者28名	季節行事 (ゲーム大会)
7	初詣	コロナ感染症流行のため中止		
8	成人を祝う会	令和4年 1月12日(水)	利用者27名	季節行事 (新成人を祝う会)
9	節分	令和4年 2月3日(木)	利用者27名	季節行事 (豆まき、茶話会)
10	ひなまつり	令和4年 3月3日(木)	利用者27名	季節行事 (桃の貼り絵、しおり制作)

備考

・コロナ感染症が流行していたため、外出行事の実施は取りやめた。

6 事業担当職員（職員構成：令和4年 3月31日現在）

施設長	常勤兼務	1名
サービス管理責任者	常勤	1名
生活支援員	常勤	11名（中央タクシー職員2名を含む）
	常勤兼務	2名
	非常勤	2名
医師	非常勤嘱託	1名
看護職員	常勤	1名
	非常勤	2名
事務員	常勤兼務	1名
栄養士	非常勤兼務	1名
調理員	非常勤兼務	1名

7 緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 年2回）を実施し、非常時に備えた。

令和3年度（就労継続B型事業所）ボーノボーノ大崎東 事業報告

1、施設概要

所在地	宮城県大崎市鹿島台船越字鍋田50-2
利用定員	20名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

一人ひとりのニーズによって、日頃の就労支援活動（野菜の収穫、販売、施設外就労等）を通し、自主性・自発性を養成し、「社会人として必要な基礎力」の向上に努めました。

(2) 日常生活支援

約束事である「ボーノボーノルール」、「ボーノボーノ約束事」を朝の会で唱和し、マナーの習得に努めた。また、健康・体力維持のため一日3食の食事を摂るように指導しています。

(3) 生産活動支援

- ・収穫した野菜の販売(おてんとさん、JA)、及び栽培した花(マリーゴールド、パンジー)を地元の行政区等への販売促進に努めた。
- ・リサイクル作業、ギフト作り作業、法人内施設清掃作業、施設外就労作業、個人宅草取り作業、雪掃き作業を行った。

(4) 地域交流支援

年に2回地域での清掃作業を行っています。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画(ケアプラン)作成時の面談、また、2ヶ月に一回の面談、相談を行いました。

(6) QC活動

今年度は、「小ねぎの生産本数のアップを目指して」をテーマに職員、利用者協力し合い取り組みました。

(7) 余暇関連

余暇活動	活動日	目的
映画鑑賞、カラオケ	不定期	コロナウイルス感染防止のため中止
外出行事、障害者スポーツ	他事業所見学、鹿島台互市、お花見	コロナウイルス感染防止のため中止

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 登録者数 25 名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
13 名	2 名	5 名	2 名	3 名	0 名	0 名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数（人）	29	29	29	29	28	27	27	26	25	25	25	25	
開所日数（日）	22	22	22	22	23	22	22	22	22	22	20	23	264
延通所者数（人）	495	490	490	512	507	467	467	435	423	416	389	389	5480
1日平均利用者人数 （人）	22.5	22.2	22.2	23.2	22.0	21.2	21.2	19.7	19.2	18.9	19.4	16.9	20.7
利用率（%） （1日平均利用者/登録者）	77.5	76.5	76.5	80.0	78.5	78.5	78.5	75.7	76.8	75.6	77.6	67.6	76.6

※3/10(木)コロナウィルス感染症陽性者1名発症のため3/11(金)施設閉所する(保健所の指示により)
その他に感染者は出なかったため、3/14(月)より施設再開する。

5、年間行事

No.	行事名	開催日時	実施場所	参加者数
1	芋煮会	11/3	ポーノポーノ大崎東農場	利用者 25 名
2	クリスマス会 慰労会	12/25	集落館	利用者 19 名
3	初詣	1/4	小牛田「山の神社」	利用者 17 名

6、職員（職員構成：令和4年3月31日現在）

施設長	常 勤 1 名
サービス管理責任者	常 勤 1 名
生活支援員	常 勤 4 名 非常勤 2 名
医師	非常勤嘱託 1 名
看護職員	常 勤 名 非常勤 名
事務員	常 勤 名
栄養士	非常勤 名
調理員	非常勤 名

7、緊急時の対応

(ア) 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 7/14・11/23年2回）を実施し、非常時に備えた。

(イ) 洪水避難訓練(2/23)を実施している。

令和元年度（相談支援事業所）マリアージュ仙台 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市青葉区本町2丁目3-10 仙台北町ビル2F
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

近年、利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきている。当事業所としては、ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。そして彼らのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善も意識し、働きかけを行った。又、社会の一員としてさらに地域住民として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領事務
- (5) 支援費請求事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

- (1) 登録者数 283名（うち児童28名含む）
- (2) 利用者障害支援区分

区分なし	うち児童	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
95名	うち28名	5名	49名	46名	34名	25名	21名

- (3) 契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新契約者数	5	4	8	4	3	3	1	1	3	0	1	1	34
計画作成	21	29	23	19	30	24	29	25	25	28	21	30	304
継続支援	64	52	56	53	46	56	68	63	74	67	77	68	744

5、年間行事（職員動き）

月	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
4				
5				
6				
7	コロナウィルス感染症流行の為 主たる研修などは開催されず 下記定期会議に参加のみ			
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
ー備考ー ○サビ管連絡会議・虐待防止委員会（月1回実施）※4,5,6,3月はコロナの為延期 ○AKG（毎月第三水曜日） ○「チーム仙台」（年4回実施） ○サポネットあおば(毎月1回)				

6、事業担当職員（職員構成：令和4年3月31日現在）

所長（管理者）	常勤 1名（兼務）
相談支援専門員	常勤 2名(兼務)
相談員	常勤 0
事務員	常勤 1名（兼務）

7、緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- ② AEDを含む救命に関するDVDによる視覚研修を実施し、緊急時に備えた。

令和3年度 生活介護事業所 フォレスターナ若林 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市若林区卸町東2丁目5-16
利用定員	30名
設置主体	社会福祉法人 チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。また社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ① 利用者ひとり一人の能力・特性・ニーズに応じた支援の提供と、潜在能力の助長に努めた。
- ② 利用者の健康管理に配慮しながら活動を支援し、事業所への安定した通所に努めた。

(2) 日常生活支援

- ① 利用者ひとり一人の状況に応じた、食事・排泄・身体介護・健康管理等、日常生活に関する援助に努めた。
- ② 利用者ひとり一人の状況に応じた創作活動を提供し、身体機能または、生活能力の向上を目指した支援に努めた。

(3) 生産活動支援

- ① 利用者ひとり一人の障害特性や能力に応じた活動メニューを取り入れた支援を行った。
- ② 利用者の活動意欲と、潜在能力が喚起できる訓練に努めた。

(4) 地域交流支援

- ① 日中活動を通して近隣の事業所の職員や地域の住民とふれあい交流を図った。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ① 利用者の家族が抱える不安や悩み等に対し、相談・助言、情報提供等の支援に努めた。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	目的
ストライキング エクササイズ	毎週水曜日 または木曜日	運動等による機能の維持と体力増強に努めた
誕生会	毎月	誕生者のお祝い、会食を実施した
ドライブ	随時	グループに分かれドライブを実施した

※新型コロナウイルス感染予防のため、プール行事は中止した。

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

1) 登録者数 38名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0名	0名	0名	0名	7名	8名	23名	38名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	40	40	40	40	40	40	39	39	39	38	38	38	38
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	18	14	252
延通所者数(人)	718	712	737	731	693	715	747	733	735	707	561	373	8,162
1日平均利用者人数(人)	32.6	32.3	33.5	33.2	31.5	32.5	33.9	33.3	33.4	32.1	31.1	26.6	32.3
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	81.5	80.7	83.7	83.0	78.7	81.2	86.9	85.3	85.6	84.4	82.0	70.1	82.5

5、年間行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
1	対面式	令和3年4月1日(木)	利用者 1名	新規利用者の入所式
2	七夕会	令和3年7月7日(水)	利用者 39名	季節行事
3	ハロウィンパーティー	令和3年10月27日(水)	利用者 35名	季節行事
4	クリスマス会	令和3年12月22日(水)	利用者 38名	季節行事
5	成人を祝う会	令和3年1月14日(金)	新成人 3名	成人者の紹介、記念撮影
6	節分	令和3年2月3日(水)	利用者 34名	季節行事
7	ひなまつり	令和3年3月1日(火)	利用者 32名	季節行事
上記のほか、利用者の誕生会、カラオケ、納涼会、ドライブを実施した。 予定していた外出行事は、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。				

6、事業担当職員(職員構成:令和4年3月31日現在)

施設長	常勤 1名(兼務)
主任	常勤 1名
サービス管理責任者	常勤 1名
生活支援員	常勤 14名(中央タクシー職員 3名を含む) 非常勤 3名
医師	非常勤嘱託 1名
看護職員	非常勤 4名(派遣契約社員 2名を含む)
栄養士	非常勤 1名(兼務)
調理員	常勤 2名 非常勤 1名
運転手	非常勤 1名

7、緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、防災訓練(地震、火災、水害)を実施し、非常時に備えた。

令和3年度（相談支援事業所）マリアージュ若林 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市若林区卸町東2丁目5-16 フォレスターナ若林内
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

近年、利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきている。当事業所としては、ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。そして彼らのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善も意識し、働きかけを行った。又、社会の一員としてさらに地域住民として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領事務
- (5) 支援費請求事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 登録者数 36名（児童9名含む）

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児 童
17名	0名	3名	2名	9名	3名	4名	8名

(3) 契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画作成	1	1	3	2	4	3	5	5	5	5	1	1	36
継続支援	4	7	8	10	2	6	5	4	6	6	6	5	69

5、年間行事（職員動き）

月	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
<p>－備考－ ○「チーム仙台」（年4回実施） ○「若林区相談支援部会」（月1回～第4水曜日）</p>				

6、事業担当職員（職員構成：令和4年3月31日現在）

所長（管理者）	常勤 1名（兼務）
相談支援専門員	常勤 2名（兼務）
相談員	常勤 0名
事務員	常勤 1名（兼務）

7、緊急時の対応

（ア）防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。

（イ）AEDを含む救命に関するDVDによる視覚研修を実施し、緊急時に備えた。

令和3年度（就労継続B型事業所）ふれあい福祉作業所 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市泉区実沢字涌上り屋敷1-1
利用定員	20名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又、社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

就労支援活動(農業、販売、施設外就労等)を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

施設外就労や地域での販売会を通して「社会人」として必要な基本マナーの習得に努めた。
手洗い・うがい・検温を徹底しコロナウィルス感染予防・衛生管理に努めた。

(3) 生産活動支援

菓子製造・販売、農作物の生産・販売、抱優館(12月で終了)・FR仙台の清掃作業、受託作業を中心に生産活動を行い、毎月の工賃の支給を行った。

(4) 地域交流支援

コロナウィルス感染予防のため、全体の行事は実施しなかったが、根白石のおもしろ市への出店を行い地域との交流を深めた。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。

ふれあい福祉作業所の移転について利用者、保護者への説明会を10月22日、12月11日、2回開催し、説明を行った。

(6) QC活動

今年度は、「レジンに全集中 ～松島環境改善、タツノオトシゴに願いを込めて～」を職員と利用者が共に協力し合い取り組みました。

(7) 余暇関連

余暇活動	活動日	主な活動内容（発表・披露・参加）
クリスマス会	12月24日	季節行事を楽しむ 参加利用者：20名 職員：5名

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年年3月31日現在）

(1) 登録者数 17名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
8名	0名	0名	7名	2名	0名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	21	
開所日数(日)	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
延通所者数(人)	442	443	441	438	405	406	455	435	453	425	316	341	5000
1日平均利用者人数(人)	17.6	17.7	17.6	17.5	16.2	16.2	18.2	17.4	18.1	17.7	13.1	16.2	16.9
利用率(%) (1日平均利用者/定員)	70.4	70.8	70.4	70.0	64.8	64.8	72.8	69.6	72.4	73.7	52.4	77.1	69.1

5、主な行事

コロナウィルス感染症予防のため、全体での行事は中止した。

根白石おもしろ市への出店を行った。

6、事業担当職員（職員構成：令和4年3月31日現在）

施設長	常勤	1名		
サービス管理責任者	常勤	1名(兼務)		
生活支援員	常勤	3名	非常勤	2名
医師	非常勤嘱託	1名		

7、緊急時の対応

防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を年2回(6/14、12/15)に実施し、非常時に備えた。

令和3年度グループホームぼーのぼーの 事業報告

1、施設概要

所在地	宮城県大崎市鹿島台船越沖鍋田80番地
利用定員	7名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供した。

(2) 日常生活支援

- ・個人の障害特性や状況に応じて、排泄、入浴や通院等の身体介護を含む日常生活に必要な支援を行った他、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めた。
- ・健康状態を日々確認するとともに、栄養バランスの取れた献立作成及び食事の提供及び服薬管理を行った。
- ・コロナ禍において、利用者、職員ともに手洗い、うがい、消毒、検温の徹底、不要不急の外出を控え、コロナウイルス感染予防に努めた。

(3) 関係機関、職場との連携

- ・ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先、財産管理等の関係機関等との連絡調整を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・生活、余暇、財産管理、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援を行った。

(5) 余暇関連

余暇活動	活動日	内容
クリスマス会	12/24	季節行事を楽しむ 利用者7名

4、主たる利用者の状況（令和4年3月31日現在）

入居者7名

① 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
1名	1名	2名	1名	2名	名	名

② 入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延入居者数(人)	168	182	200	208	211	205	215	201	215	212	196	217	2431
1日平均利用者人数 (人)	5.6	5.8	6.6	6.7	6.8	6.8	6.9	6.7	6.9	6.8	7	7	6.6
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	93.3	96.6	110	95.7	97.1	97.1	98.5	95.7	98.5	97.1	100	100	98.3

5、事業担当職員（職員構成：令和4年3月31日現在）

管理者	常勤 1名(兼務)
サービス管理責任者	常勤 1名(兼務1名)
生活支援員	常勤 1名 非常勤1名(兼務)
夜勤従事者	非常勤 1名(専従) 5名(兼務)
世話人	非常勤 7名(兼務)

6、緊急時の対応

- (ア)防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練9/23,2/22年2回）を実施し、非常時に備えた。
 (イ)洪水避難訓練(6/29)を実施している。

令和3年度 障害福祉サービス事業所やまどり（就労継続B型事業所）事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋1624
利用定員	10名
設置主体	長野原町
運営団体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

①就労支援活動(受託作業、農作業、販売・配達、施設外就労等)を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

①日常生活で使用する挨拶を朝の会に唱和し、社会人として必要な基本的マナーの習得に努めた。

(3) 生産活動支援

①受託作業であるまんじゅう箱の箱折り、(株)クジオールのくじ折り、にしあがつま福祉会の清拭たたみ、ごみ回収作業を主な作業とし収入につなげた。

②国立療養所栗生楽泉園の清掃、長野原町役場の洗車作業を実施し収入につなげた。

③長野原町特産の花豆、トウガラシ、ねぎ、花苗等の栽培・販売を行い収入につなげた。

④独自事業としてパンの移動販売を実施し、工賃アップに貢献した。

⑤規程に基づき月々の工賃と2回にわたる賞与の支給を行った。

(4) 地域交流支援

軒並み地域行事が中止となる中、多くのボランティアの受け入れを実施した。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

①個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談に多くの時間をかけたことで、家族との信頼関係アップにつなげることができた。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	主な活動内容
ダンスダンス	毎月1回(金曜日)	運動等による機能訓練の維持と体力の増強に努めた
絵画教室	隔月1回(金曜日)	様々な道具を使用して、季節ごとの絵画等を制作した
誕生会	毎月	誕生者のお祝い、会食を実施した

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 登録者数 14名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
6名	0名	6名	1名	1名	0名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	14	15	14.58
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	23	263
延通所者数(人)	250	234	225	231	231	237	251	254	245	261	230	237	2886
1日平均利用者人数(人)	11.4	10.6	10.2	10.5	10.5	10.8	11.4	11.5	11.1	11.9	11.5	10.3	10.9
利用率(%) (1日平均利用者/利用定員)	114	106	102	105	105	108	114	115	111	119	115	103	109.7

5, 主な行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容および参加者数
1	花見	4/24	外出行事(すきっぷと合同) 利用者13名
2	ハイキング	5/15	外出行事 利用者15名
3	クリスマス会	12/24	季節の行事 利用者23名
4	初詣	1/8	季節の行事 利用者13名
	成人を祝う会	1/26	親睦交流の場 利用者21名
5	クッキング教室	2/19	親睦交流の場 利用者14名

※予定していた行事等は、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

6、事業担当職員(職員構成:令和4年3月31日現在)

施設長	常勤	1名
サービス管理責任者	常勤	1名(兼務)
生活支援員	常勤	4名 非常勤 1名
医師	非常勤嘱託	1名
看護職員	常勤	0名 非常勤 0名
事務員	常勤	1名(兼務)
調理員	非常勤	1名(兼務)
運転手	非常勤	1名(兼務)

7、緊急時の対応

- ①防災計画に基づき、防災訓練(避難訓練9月・3月)を実施し、非常時に備えた。
- ②緊急連絡網の見直しを実施した。

令和3年度 障害福祉サービス事業所やまどり（生活介護事業所）事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋1624
利用定員	10名
設置主体	長野原町社会福祉法人チャレンジドらいふ
運営団体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 日常活動への支援

- ① 個々人の能力及び、特性に応じた作業内容を取り入れ、工賃または本人支給金を還元した。
- ② 利用者の活動意欲と潜在能力の喚起を目指す活動を取り入れ支援した。

(2) 日常生活上の援助

- ① 個々の状況に応じ、食事、排泄、身体介護、健康管理等の日常生活に関する援助に努めた。
- ② 個々の状況に応じた創作活動や、身体機能、生活能力の向上に関する援助に努めた。

(3) 生産活動支援

- ① 受託作業であるまんじゅう箱の箱折り、(株)クジオールのくじ折り、にしあがつま福祉会の清拭たたみ、ごみ回収作業を主な作業・活動とし収入につなげた。
- ② 独自事業としてパンの移動販売を実施し、工賃アップに貢献した。
- ③ 規程に基づき月々の工賃と2回にわたる賞与の支給を行った。

(4) 地域交流支援

軒並み地域行事が中止となる中、多くのボランティアの受け入れを実施した。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談に多くの時間をかけたことで、家族との信頼関係アップにつなげることができた。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	目的
ダンスダンス	毎月1回(金曜日)	運動等による機能訓練の維持と体力の増強に努めた
絵画教室	隔月1回(金曜日)	様々な道具を使用して、季節ごとの絵画等を制作した
誕生会	毎月	誕生者のお祝い、会食を実施した

4、主たる利用者と利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 登録者数 14名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	3名	4名	5名	2名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	23	263
延通所者数(人)	226	215	206	221	189	191	206	189	185	203	196	180	2407
1日平均利用者人数(人)	10.3	9.8	9.4	10.1	8.6	8.7	9.4	8.6	8.4	9.2	9.8	7.8	9.2
利用率(%) (1日平均利用者/利用定員)	103	98	94	101	86	87	94	86	84	92	98	78	89

5、年間行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容および参加者数
1	花見	4/24	外出行事(すきっぷと合同) 利用者13名
2	ハイキング	5/15	外出行事 利用者15名
3	クリスマス会	12/24	季節の行事 利用者23名
4	初詣	1/8	季節の行事 利用者13名
	成人を祝う会	1/26	親睦交流の場 利用者21名
5	クッキング教室	2/19	親睦交流の場 利用者14名

※予定していた行事等は、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

6、事業担当職員(職員構成:令和3年3月31日現在)

施設長	常勤	1名
サービス管理責任者	常勤	1名(兼務)
生活支援員	常勤	2名 非常勤 2名
医師	非常勤嘱託	1名
看護職員	常勤	0名 非常勤 1名
事務員	常勤	1名(兼務)
調理員	非常勤	1名(兼務)
運転手	非常勤	1名(兼務)

7、緊急時の対応

- ①防災計画に基づき、防災訓練(避難訓練9月・3月)を実施し、非常時に備えた。
- ②緊急連絡網の見直しを実施した。